

2024 年度学生と先輩との交流会 開催報告

学生会担当 土屋智由（H3/1991卒）、長田孝二（H4/1992卒）

2023年12月16日（土）、京都リサーチパークにて、京機会学生会（SMILE）主催のイベントである「学生と先輩との交流会」が開催されました。学部・大学院の機械系の学生が企業・公的機関で活躍している「先輩」との親交を深める会です。親交を深めるイベントでありながらも、卒業生は企業・機関を代表して参加下さっている側面もあり、会社の雰囲気や仕事の内容をざっくばらんに聞くことができる貴重な場になっています。

2024年度の交流会は2023年度以前の開催時期（2、3月）から、学生のスケジュールに配慮して12月の週末に期日を変更いたしました。また、前回に引き続き対面でさらに会場は地下のホールのみ、懇親会も立食形式で、コロナ禍前の形式で開催することができました。このような中、合計68の企業や公的機関（省庁等）から92名の卒業生を含む138名が駆け付けてくれました。

会場の準備は前日の午後にSMILEメンバーによって行われ、当日は9:30過ぎから徐々に卒業生の参加者が来て各ブースの準備が行われました。そして10:40からの事前説明では2024年度機械系就職担当教授の西脇真二さん（S61/1986卒）による挨拶、またSMILE代表の高橋歩夢さんによる本日の進行に関する説明があり、11:00より交流会がスタートしました。



西脇さんによる挨拶



高橋SMILE会長による説明の様子

開始から学生が徐々に来場し、地下のバズホールとバンケットホールの2ホールにブースを設置して開催できたこともあり、ブースは学生で順調に埋まり、昼

頃にはほぼすべてのブースで交流が行われている様子が伺えました。午後に入ると教員の来場もあり、また、同時開催された関西支部産学懇話会の参加者が様子を見に来て下さるなど、会場は盛況でした。



各会場の様子

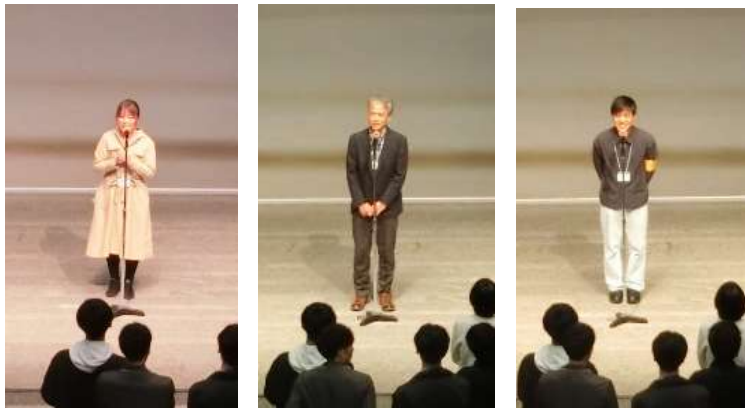
機械系教室から10名以上の教員も駆け付け、卒業生との会話を楽しんでいました。勤務先での機械系の卒業生の幅広い活躍の様子を伺うことができ、大変喜ばしく、心強く思いました。最終的な学生の参加人数は約110名で、昨年よりも多くなりました。開催時期を変更した効果もあると思いますが、SMILEメンバーや教員の声掛けの成果もあり学部生の参加が多かったのが印象的です。学部生が機械工学を学ぶことへの意義や実際の会社での先輩方の活動を知ることができる貴重な機会となったことと思います。

また、17:00より1号館アトリウムにて懇親会を開催しました。前回の懇親会は着席会食で静かにお弁当をいただくパートの後にマスク着用のもとでの懇談だったのに対して、今回は立食、アルコールもありの普段通りの懇親会が5年ぶりに実施できました。懇親会は交流会に終日参加いただいた千々木亨京機会会長の挨拶と乾杯でスタートしました。産学懇話会の参加者10数名も加わり、全体では200名近くが会場を埋めつくし、会話の花が咲きました。交流会でのブースを回った以上に多くの方と話すことができたという声もありました。最後に、卒業生代表として廣野陽子さん（H21/2009卒：DMG森精機(株)）、教室代表として土屋智由さん、そして交流会を運営したSMILEのメンバーを紹介したのちにSMILE交流会主

担当の野口峻さん（B4）が挨拶をして最後に一本締めをして解散となりました。



懇親会の様子



締めのご挨拶(左：廣野さん、中：土屋さん、右：野口さん)

時期は変わりましたが5年ぶりに元通りの形で交流会を開催することができ、関係者一同、大変嬉しく思っております。京機会学生会担当幹事として参加していただいた卒業生の皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。来年度もまた同様の形で、皆様にお会いできますことを心より願っております。

なおこのイベントの運営は全てSMILEによって行われました。会長の高橋歩夢さん（M1）、交流会主担当の野口峻さん（B4）、メンバーの北山大智さん(B4)、森田健司さん（M2）、王原悠真さん（M2）、大木幹也さん（M2）、石田尚之さん(D1)により、本会の開催が実現したことを申し添えます。



SMILEメンバー（左から高橋さん、野口さん、北山さん、森田さん、大木さん、王原さん）

2023年度（2024年4月就職）の就職先一覧 大学院 工学研究科 機械工学群3専攻、 工学部 物理工学科 機械システム学コース・宇宙基礎工学コース

2023年度機械系就職担当 平方寛之（H9/1997卒）

1. はじめに

機械系就職担当は、大学院工学研究科の機械工学群3専攻（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）と工学部物理工学科の2コース（機械システム学コース、宇宙基礎工学コース）に所属する学生の求人を希望する企業に対して「学校推薦」を実施しています。本稿では2023年度（2024年4月入社予定）の状況について報告します。

2. 学校推薦事務の経過

例年通り、企業からの面談依頼は2022年12月初旬から始まりました。COVID-19の影響は緩和されつつありましたが、依然として多くの面談をリモートで行いました。採用活動に関しては、規制緩和が進んでおり、企業と学生との面接のほとんどが対面で行われたようです。

近年、学校推薦による採用でも、ほとんどの企業が『ジョブマッチング』を行っており、実際の採用プロセスは以前よりも早く進んでいます。経団連の指針は2020年度からなくなりましたが、内閣官房からの要請に基づき、最近の数年間と同様に、広報活動を3月1日に開始し、採用選考を6月1日に開始する前提で学生との対応を行いました。学生には、例年通り5月の連休明けに学校推薦の希望先を提出してもらい、それに基づいて6月に選考を開始するよう学校推薦書を準備しました。

以下に、1年の経過を示します。

2022年

12月12日 博士交流会および進路指導ガイダンス

2023年

2月 3日 就職説明会（1）